

京都のめざすまちの姿等に関する 議論の進め方

第1回未来共創チーム会議

○ 趣旨について

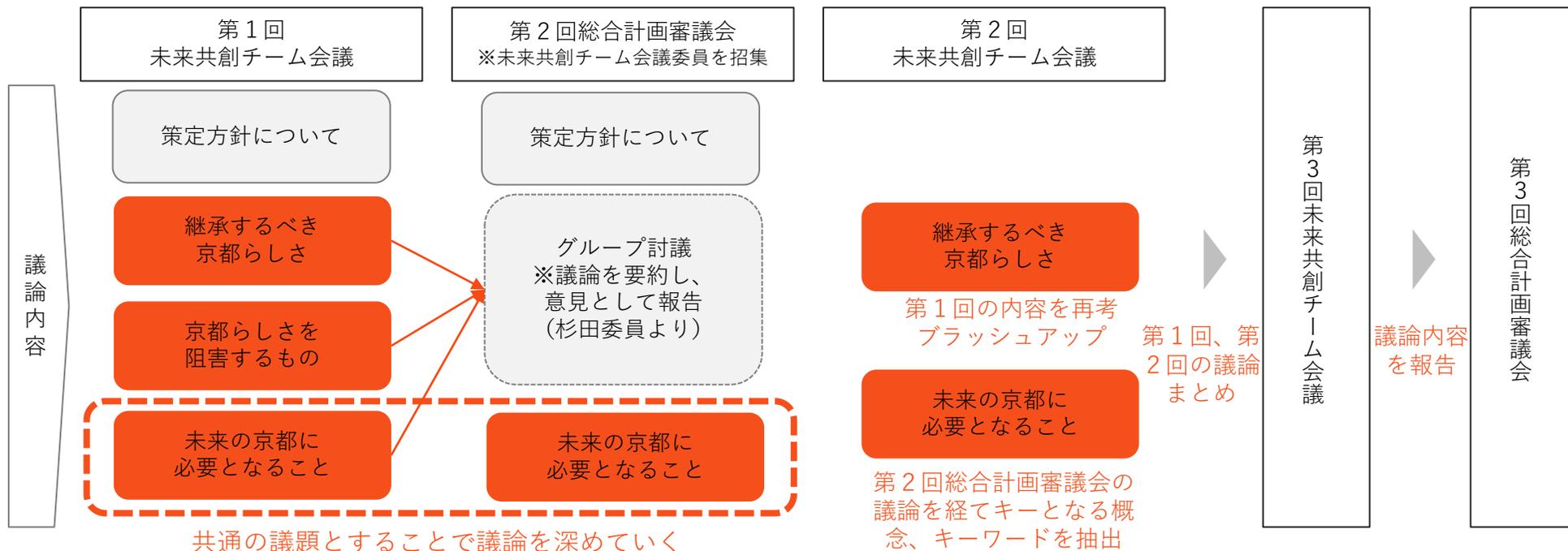
ビジョンの策定に向けて、過去から受け継ぎ、未来へと継承していきたい「京都らしさ」について議論をして、理解を深めていく。それらはビジョン策定の重要な構想の基盤とする。

また、現状の京都を鑑みて、「京都らしさ」を阻害する要因や、これからの社会を見通す中で必要となることについて議論し、ありがたい姿の目線を合わせていく。

○ 第2回総合計画審議会に向けて

本日議論した内容を、未来共創チーム会議委員を招集して開催する第2回総合計画審議会で、両会議の委員である杉田委員より報告。

本日の議論と共通の課題を両会議のメンバーが混じり合って議論することで、より理解を深める。



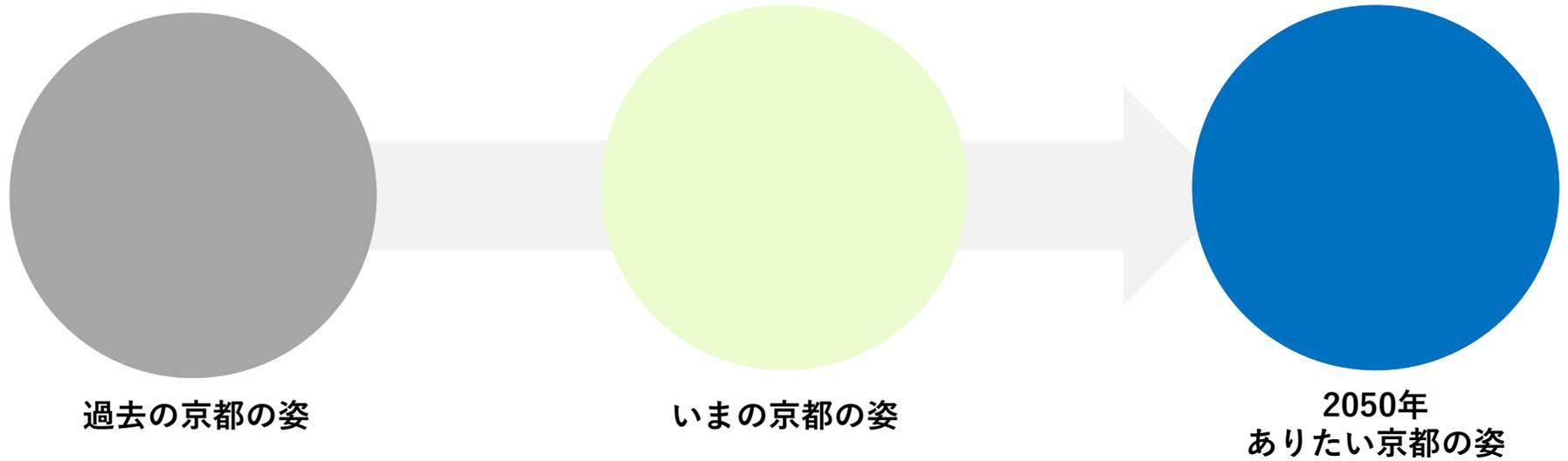
第1回未来共創チーム会議

○ 議論の進め方及び各テーブルの議論テーマ

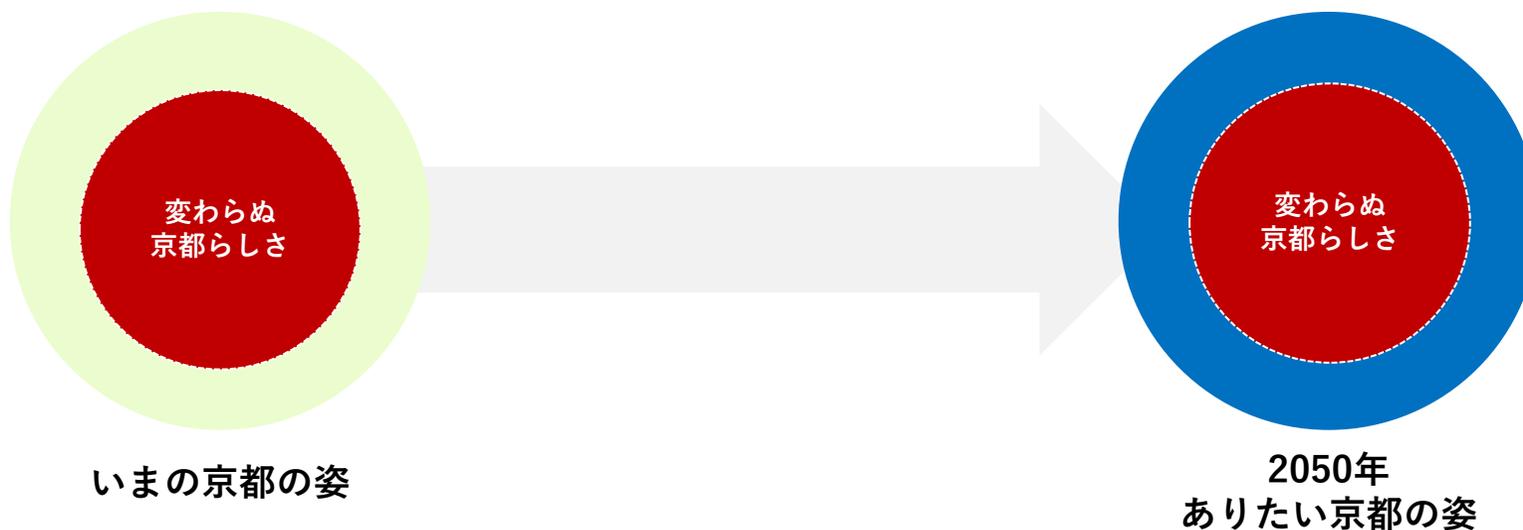
進め方	概要		
セッション1	テーブルA テーマ： 継承すべき京都らしさ	テーブルB テーマ： 京都らしさを阻害するもの	テーブルC テーマ： 未来の京都に必要なこと
セッション2	Q1. 他の日本の都市にはない独自の価値観・まちの様子からあなたが考える「京都らしさ」とはどのようなものですか？	Q2. 現状で京都らしさを損ねているものはなんですか？	Q3. 2050年にも京都市民が愛し、世界の人に誇りと憧れをもってもらえるまちとなるために必要なことはなんですか？
セッション3	各委員はセッションごとにテーブル間を移動		
発表・共有	各セッションの時間は20分 事前課題の共有から議論を開始		

本セッションの議論の位置付けについて

長期ビジョンを過去・現在・未来の文脈から検討する

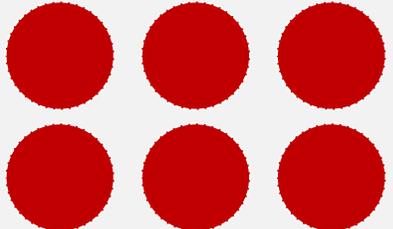


目に見える京都の中に
過去から継承する変わらぬ「京都らしさ」があります

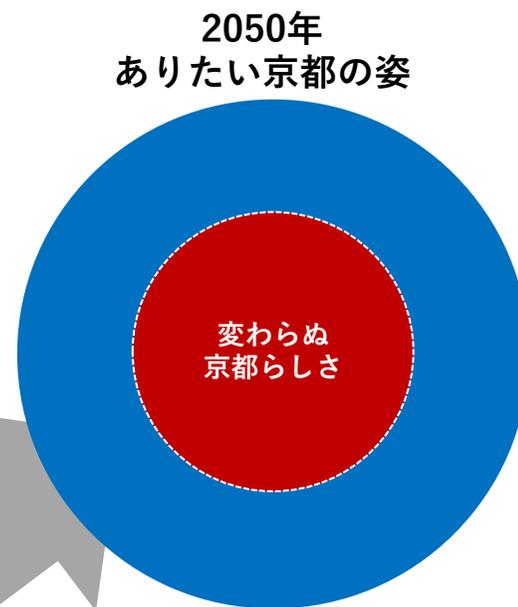


継承すべき「京都らしさ」の要素について検討します。

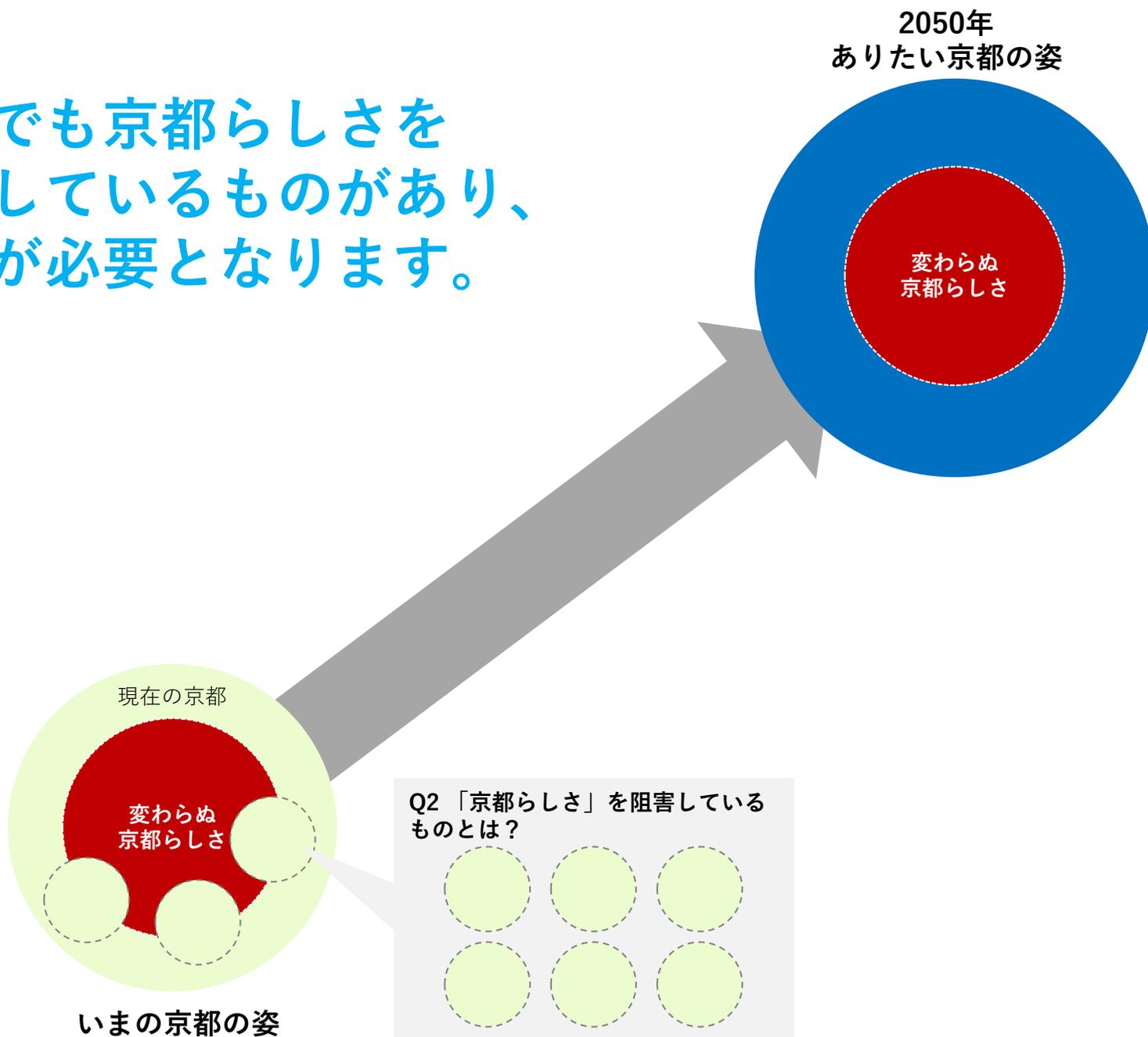
Q1 「京都らしさ」とは？



いまの京都の姿



現在でも京都らしさを
阻害しているものがあり、
解決が必要となります。

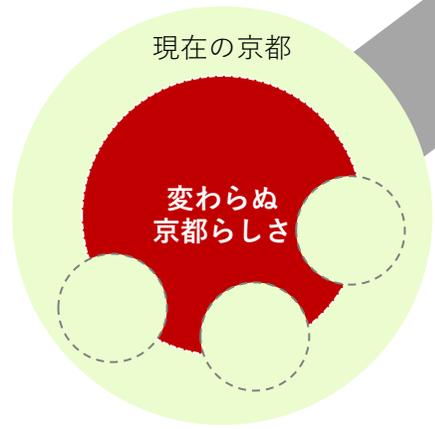


論点③ 第1回未来共創チーム会議、第2回審議会（合同会議）で議論します

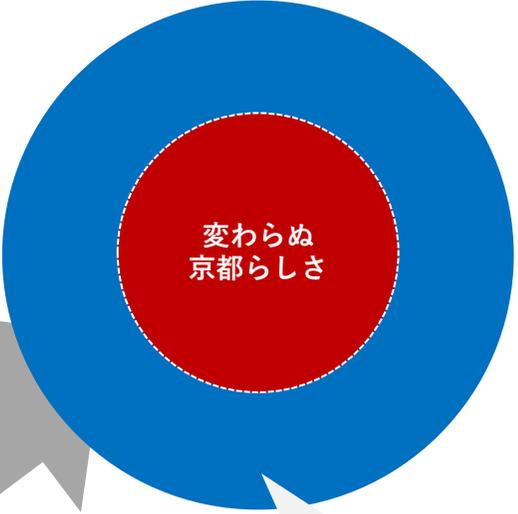
2050年
ありたい京都の姿

未来の京都を見据えて、
足りないこと、
新しく付加すべきことを考えます。

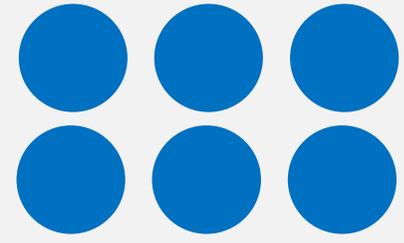
ありたい京都の姿の輪郭と
合わせて考えていきます。



いまの京都の姿



京都に足りないもの、付け足したいものとは？



2050年にも京都市民が愛し、
世界の人に誇りと憧れをもってもらうために

ワーク形式による会議のルール

立場や年代を超えてフラットに議論することで、多様な視点の導出と理解の深化を目指します

セッションのルール①

傾聴のスタンスで

発言をいきなり否定しない。

「Yes, but・・・」ではなく

「Yes, and・・・」!

セッションのルール②

賞賛のスタンスで

いいね！拍手！が基本動作。
ポジティブ思考で！

セッションのルール③

他人の意見にのっかる

1人で完璧な答えを出そうとしない。

「その意見に乗っかると・・・」

「その話を聞いて思いついたんだけど・・・」

セッションのルール④

アイデアのもと、**平等**

チーム員一人一人が、主役。
忖度なしで立場を超えて
フラットに話し合しましょう。

セッションのルール⑤

発想を遠くに**飛躍**させる

荒唐無稽でもいい

挑戦的な思考や視点を歓迎！